

## 編 集 後 記

2001年9月11日は、アメリカでの同時多発テロが起きた日であり、2011年3月11日は東北関東大震災が日本を襲い津波は1万5千人以上の人をのみこんだ。テロは人災とはいえ10年後の奇数月の同じ日に、世界を震撼させる災害が日本で起きたことに不思議な因縁を感じるのは私だけであろうか？ 本日地震発生から1週間たち、私はまだ余震に怯えながら、家、家族を失ってもなお笑顔を保とうとしている被災者の心の強さに感動を覚えながら編集後記を書いている。大災害を前に人はあまりに無力である。

しかしながらこの紀要には、巻頭言にあるように学科内外の多忙な業務に忙殺されながらも、研究の「志」を高く掲げて地道な努力を重ね自らを弛まず磨き上げて投稿された力作が集められている。各著者は、もちろんのこと、この大災害を知る由もなく論文に専心されていたことであろう。その過程では一つの論文を完成させる産みの苦しみもあったであろうが、今このような事態になって振り返れば、充実した時間であったという実感がより強くなるのではないであろうか。そんな時間が持てる私たち教師は本当に恵まれた環境に置かれていると思う。

多くの製紙会社が東北地域にあることも災いし、学苑出版のための用紙調達がうまくいかなかったり、これから値上がりしたりする可能性もあると聞く。まだ長引く余震や計画停電という異例の状況の中でも優秀な編集者の絶えざる努力により、学苑の今月号も無事出版できることになった。最後に近文研編集者の皆様の多大なる努力に敬意を表したい。

頑張れ日本！ 頑張れ昭和！

(英コミ『紀要』担当 丹羽 正子)

☆掲載論文の無断転載を禁じます。

〒154-8533  
東京都世田谷区太子堂一ノ七  
電話 03 (三四二) 五三〇〇

発行所 昭和女子大学  
近代文化研究所

編集発行人 山田 潔  
印刷所 三 秀 舎

平成二十三年三月二十日 印刷  
平成二十三年四月一日 発行

購読料 一カ年分 一〇〇八〇円  
(本体 九六〇〇円)

定価 八四〇円(本体八〇〇円)

学苑 八百四十六号